

平成30年3月29日

荒尾市長 浅田 敏彦 様

荒尾市民病院あり方検討会  
会長 小野 友道

荒尾市民病院第二期中期経営計画の実施状況に関する点検・評価報告書の提出について

荒尾市民病院あり方検討会において、荒尾市民病院第二期中期経営計画の平成28年度の実施状況を点検・評価した結果、別紙のとおり、報告書を取りまとめましたので、ここに提出いたします。

なお、平成28年度の本計画の実施状況については、第一期の計画期間から引き続き、増収・増益により、全般的には順調に推移しているものと考えられますが、本計画の推進にあたっては、下記の事項に留意され、その実現に努められるよう切に希望します。

#### 記

1. 経営の改善体制が醸成されている状況ではあるが、10億円を超える累積赤字を抱える中で、新病院建設を見据え、今後の経営戦略などを更にきめ細やかに検討し、現実的で持続可能な経営体制を維持していくとともに、今後も医業収益向上に直結する医師確保に努めること。
2. 「新病院建設基本構想」において定めた荒尾市民病院の役割に基づいて、今後も近隣の中核病院や診療所、さらには、介護や住まい、生活支援サービスについても連携体制の強化を図り、互いに不足している機能を補完し、それぞれの役割を充実・強化することで、地域完結型の医療の実現に努めること。
3. 点検・評価の過程で提起された多くの意見については、計画・実施段階における検討材料として十分参考にされたいこと。

#### 【添付資料】

1. 荒尾市民病院第二期中期経営計画の実施状況に関する点検・評価報告書 (1部)
2. 荒尾市民病院第二期中期経営計画の実施状況に関する点検・評価資料 (1部)